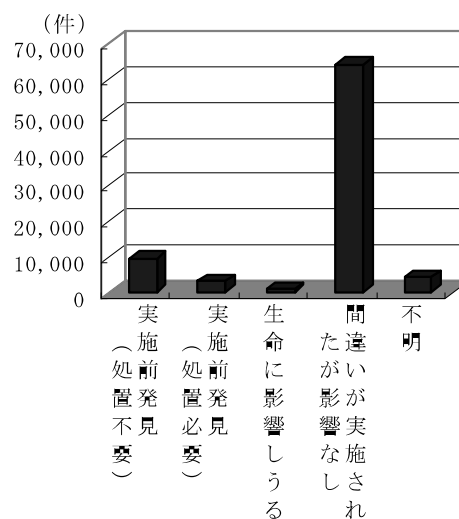


図表Ⅱ-2-14 ヒヤリ・ハットの影響度

影響度	件数	(%)
実施前発見：患者への影響は小さい（処置不要）	9,766	10.7
実施前発見：患者への影響は中等度（処置必要）	3,223	3.5
実施前発見：患者への影響は大きい（生命に影響しうる）	852	0.9
間違いが実施されたが、患者に影響がなかった	64,253	70.6
不明	4,316	4.7
その他	8,580	9.4
合計	90,990	100



図表Ⅱ-2-15 発生要因

発生要因 <sup>(注)</sup>	件数	(%)
確認が不十分であった	55,787	27.4
観察が不十分であった	27,602	13.6
判断に誤りがあった	16,051	7.9
知識が不足していた・知識に誤りがあった	5,794	2.8
技術（手技）が未熟だった・技術（手技）を誤った	4,358	2.1
報告等（忘れた・不十分・間違い・不適切）	3,317	1.6
身体的状況（寝不足・体調不良等）	2,817	1.4
心理的状況（慌てていた・思い込み等）	25,464	12.5
システム	3,362	1.7
連携	9,450	4.6
記録等の記載	1,970	1.0
患者の外見（容貌・年齢）・姓名の類似	363	0.2
勤務状況	18,654	9.2
環境	1,553	0.8
医療・歯科医療用具（機器）・器具・医療材料	1,664	0.8
薬剤	1,882	0.9
諸物品	866	0.4
施設・設備	427	0.2
教育・訓練	5,269	2.6
患者・家族への説明	11,834	5.8
その他	4,834	2.4
合計	203,318	100

(注)「発生要因」は複数回答が可能である。